



光と空気と水を生かす
Always With You

第88期 事業報告書

平成28年4月1日 ~ 平成29年3月31日

 **ダイダン**株式会社



代表取締役
会長執行役員

菅谷 節



代表取締役
社長執行役員

北野 晶平

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。さて、第88期(平成28年4月1日~平成29年3月31日)における事業の概要についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、良好な雇用環境が継続したものの、個人消費は低調に推移しました。また、日銀の金融政策決定から生じた不安定な金融市場により、為替相場及び株式相場等は先行き不透明な状態が続きました。一方で、米国や中国をけん引役として、生産や輸出が持ち直し、企業業績が改善に向かうなど一部に明るい動きも見られました。

建設業界におきましては、公共投資が底堅く推移し、民間設備投資も企業収益の改善を受け、堅調に推移しました。

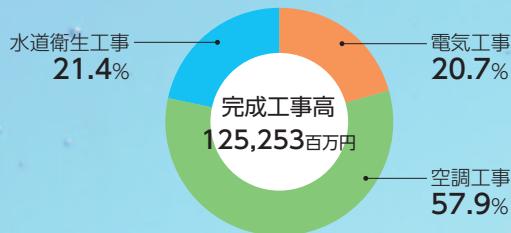
当社グループの受注工事高は、前連結会計年度比0.4%増(5億3百万円増)の1,440億7百万円となりました。その部門別内訳は、電気工事20.1%、空調工事58.4%、水道衛生工事21.5%であり、主な受注工事は、春日・後楽園駅前再開発南街区 空調・水道衛生工事、(仮称)広島二葉の里プロジェクト 電気・空調・水道衛生工事、富山村田製作所D棟 空調・水道衛生工事、大丸心斎橋店本館建替 電気工事、高松赤十字病院新東館 空調工事などがあります。

完成工事高につきましては、前連結会計年度比9.5%減(130億9千2百万円減)の1,252億5千3百万円となりました。その部門別内訳は、電気工事20.7%、空調工事57.9%、水道衛生工事21.4%であり、主な完成工事は、加古川中央市民病院 空調工事、JA新潟厚生連小千谷総合病院 空調・水道衛生工事、佐久シチズン時計工場 空調・水道衛生工事、豊洲スマートエネルギーセンター 電気・空調工事、花王小田原CP-R3プロジェクト 空調・水道衛生工事などであります。

この結果、次期への繰越工事高は、前連結会計年度比19.2%増(187億5千3百万円増)の1,164億8千万円となりました。

利益面につきましては、営業利益は前連結会計年度比3.3%増

セグメント別完成工事高比率



(2億1千3百万円増)の67億5千万円となりました。経常利益は前連結会計年度比2.5%増(1億6千8百万円増)の69億3千9百万円となりました。この結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前連結会計年度比9.2%増(3億9千万円増)の46億3千8百万円となりました。

今後の見通しにつきましては、アメリカの政策の動向や英国のEU離脱、中国その他新興国の経済の先行き等、不安定な世界情勢による下振れリスクがあるものの、企業業績や設備投資には底堅さがみられることから、景気は緩やかに持ち直すものと思われる。

建設業界におきましては、堅調な企業業績を背景に底堅く推移していますが、不安定な世界の政治経済情勢に対する懸念もあり、特に東京オリンピック以降の日本の経済情勢は不透明となっています。そのような中で、持続的に成長するためには、経営基盤の強化と事業領域の拡大が重要な課題となっています。

当社は、中期経営計画「お客様に必要な環境を創造し提供するダイダモン～Always With You.～」を、6年後の創業120周年を見据えた長期ビジョンを実現するための基盤強化、変革に向けた第1ステップとして位置付けています。その上で、ダイダモンのあるべき姿を「基盤技術、事業創出、経営基盤、企業責任」の4つにまとめ、それぞれに戦略・施策を作成しています。

中期経営計画の現況

I. 【基盤技術】お客様の環境構築パートナー

平成28年に開発技術関連の本部を束ねた開発技術グループを設置し、これまで培った高度設備技術の基盤技術化を図るとともに、設計と施工の技術対応力強化に努めています。

また、建築設備からのZEBの発信を推進するため、九州支社の建て替えを行い、最先端技術を投入し、実際に事務所として使用しながら検証を行っています。

II. 【事業創出】光と空気と水の技術を生かした事業領域の創出

再生医療分野への取組みとして、次世代のCPF(細胞加工施設)向けの「エアバリアブース」を開発しました。さらに、川崎市の「ライフイノベーションセンター」内にCPFオープンラボ「セラボ殿町」を開設するなど、異業種とのイノベーションを推進しています。

III. 【経営基盤】市場変化に対応できる経営基盤の確立

平成29年に施工技術グループを設置し、施工品質と安全を確保するとともに、技術者・技能者不足による受注機会の逸失を防ぐことに努めています。

また、働き方の多様化への対応を促進するため、女性の活躍の場を広げる施策や労働時間の適正な把握、残業時間の削減、有給休暇の取得促進等、労働環境の改善に向けた取り組みを推進しています。

IV. 【企業責任】社会的要求に応える企業

当社は、独占禁止法その他関係法令等についての社内セミナーを定期的に開催するなど、継続的な啓発活動を行っています。

今後も、コンプライアンスを徹底し、企業市民として社会的要求に応える企業として存続していくための取り組みを行ってまいります。

以上のように、当社は中期経営計画の達成に向けて総力を挙げ、てまいります。今後とも株主の皆様には、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

工事部門	前期繰越工事高	受注工事高	完成工事高	次期繰越工事高
電気工事	14,425(百万円)	28,933(百万円)	25,926(百万円)	17,432(百万円)
空調工事	59,379	84,106	72,501	70,985
水道衛生工事	23,921	30,967	26,825	28,063
計	97,727	144,007	125,253	116,480

光と空気と水を生かす

ダイダンは、建物の電気設備、空調設備、給排水衛生設備をトータルにコントロールして、快適空間を創造します。



電気設備

- 電力設備
- 情報通信設備
- 防災設備
- 特殊電気設備



空調設備

- ビル空調設備
- 産業空調設備
- 自動制御設備
- 特殊空調設備



給排水衛生設備

- 供給設備
- 処理設備
- 消火設備
- 特殊衛生設備

第88期(2016年度)完成工事



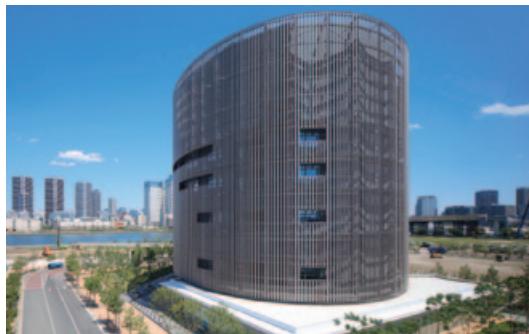
加古川中央市民病院 空調工事



JA新潟厚生連小千谷総合病院 空調・水道衛生工事



佐久シチズン時計工場 空調・水道衛生工事



豊洲スマートエネルギーセンター 電気・空調工事



花王小田原CP-R3プロジェクト 空調・水道衛生工事

第88期(2016年度)受注工事

春日・後楽園駅前再開発南街区 空調・水道衛生工事

(仮称)広島二葉の里プロジェクト 電気・空調・水道衛生工事

富山村田製作所D棟 空調・水道衛生工事

大丸心斎橋店本館建替 電気工事

高松赤十字病院新東館 空調工事

オープンイノベーション拠点、セラボ殿町を開設。

当社は、これまでの医療施設・製薬施設や細胞培養加工施設(CPF: Cell Processing Facility)を構築した技術と実績を生かして、再生医療・細胞治療の産業化拠点であるライフイノベーションセンター(神奈川県川崎市)内に、次世代型のCPFを備えたセラボ殿町を開設しました。



▲ライフイノベーションセンター

セラボ殿町の取り組み

1

再生医療・細胞治療向けの細胞加工に取り組む大学、製薬会社、研究所、ベンチャー企業にクリーンな細胞培養加工環境と機材を提供

2

再生医療サポート企業(材料・試薬・装置の各メーカー、除染業者等)に、開発製品の評価の場を提供

3

細胞培養技術者育成の場として活用いただき、経験の浅い技術者でも使いやすい細胞培養加工環境を構築

4

CPF内の環境に関するデータを収集分析して課題を抽出し、新たな研究と開発を実施



▲オープンイノベーションエリア

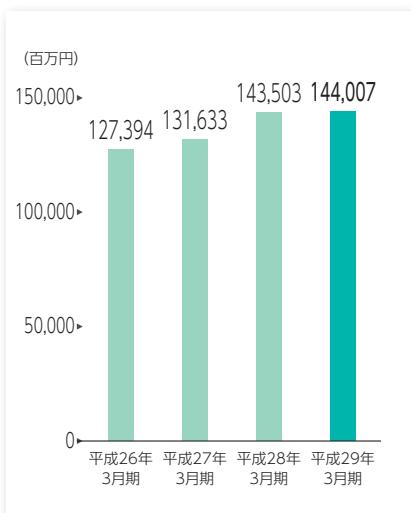


▲エアバリアブースを用いた大部屋型CPF
*次世代CPF構築のために開発した気流制御ブース

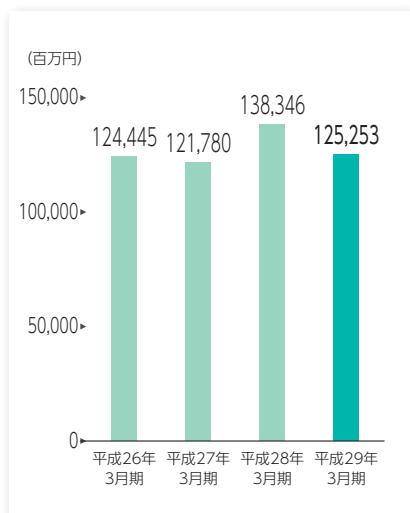
セラボ殿町は、オープンイノベーションラボとして、再生医療の研究者やそれを支える機器やサービスを提供する企業にお集まりいただき、再生医療に最適な空間・環境や機器、機材等を創り出していくための実験、協業の場としています。再生医療の普及と、これを支える産業のイノベーション推進の場として活用してまいります。

財務ハイライト(連結)

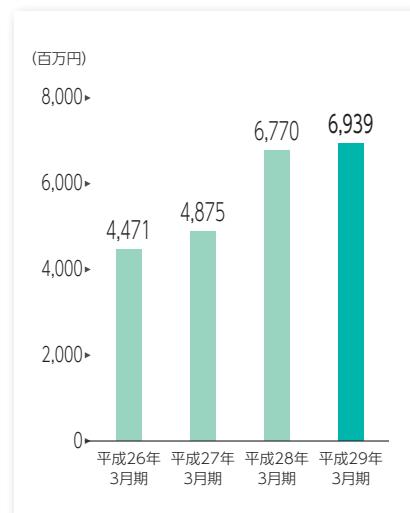
受注工事高



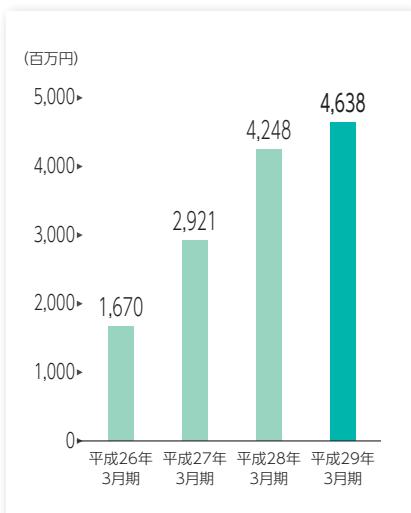
完成工事高



経常利益



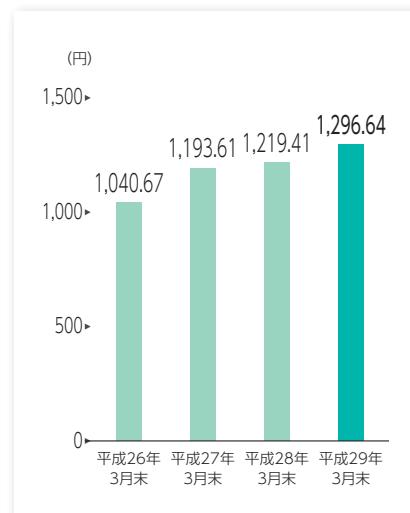
親会社株主に帰属する当期純利益



総資産・純資産・自己資本比率



1株当たり純資産額



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度末 (平成29年3月31日現在)	前連結会計年度末 (平成28年3月31日現在)
【資産の部】		
流動資産		
現金及び預金	26,576	23,563
受取手形・完成工事未収入金	49,198	56,157
電子記録債権	8,216	8,095
未成工事支出金	478	385
材料貯蔵品	0	0
繰延税金資産	1,194	1,392
その他	1,857	2,117
貸倒引当金	△ 6	△ 7
流動資産合計	87,516	91,704
固定資産		
有形固定資産	4,694	4,178
無形固定資産	682	594
投資その他の資産		
投資有価証券	16,574	16,543
繰延税金資産	0	1
退職給付に係る資産	7,560	7,866
その他	1,615	1,612
貸倒引当金	△ 188	△ 188
投資その他の資産合計	25,562	25,836
固定資産合計	30,938	30,608
資産合計	118,454	122,312

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度末 (平成29年3月31日現在)	前連結会計年度末 (平成28年3月31日現在)
【負債の部】		
流動負債		
支払手形・工事未払金	20,051	42,067
電子記録債務	16,384	—
短期借入金	3,880	4,519
未払法人税等	1,143	1,622
未成工事受入金	3,028	2,794
完成工事補償引当金	76	81
工事損失引当金	254	628
環境対策引当金	—	2
その他	8,887	9,717
流動負債合計	53,705	61,434
固定負債		
長期借入金	2,054	1,401
繰延税金負債	3,046	3,208
退職給付に係る負債	1,339	1,376
海外投資損失引当金	7	5
長期未払金	296	303
その他	0	0
固定負債合計	6,744	6,295
負債合計	60,450	67,729
【純資産の部】		
株主資本		
資本金	4,479	4,479
資本剰余金	4,809	4,809
利益剰余金	43,290	39,588
自己株式	△ 678	△ 674
株主資本合計	51,901	48,203
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,344	6,326
為替換算調整勘定	13	20
退職給付に係る調整累計額	△ 441	△ 169
その他の包括利益累計額合計	5,916	6,176
非支配株主持分	186	203
純資産合計	58,004	54,583
負債・純資産合計	118,454	122,312

POINT 連結貸借対照表

流動資産は87,516百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,187百万円減少いたしました。主な要因は、受取手形・完成工事未収入金の減少(6,958百万円)等によるものです。

固定資産は30,938百万円となり、前連結会計年度末に比べ329百万円増加いたしました。主な要因は、建物及び構築物の増加(688百万円)等によるものです。

流動負債は53,705百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,728百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形・工事未払金の減少(22,016百万円)が、当連結会計年度より導入しました電子記録債務の計上(16,384百万円)を上回ったこ

と等によるものです。

固定負債は6,744百万円となり、前連結会計年度末に比べ449百万円増加いたしました。主な要因は、長期借入金の増加(653百万円)等によるものです。

純資産は58,004百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,421百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加(3,702百万円)等によるものです。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	(平成28年 4月1日から 平成29年 3月31日まで)	(平成27年 4月1日から 平成28年 3月31日まで)
完成工事高	125,253	138,346
完成工事原価	107,465	121,632
完成工事総利益	17,788	16,713
販売費及び一般管理費	11,038	10,176
営業利益	6,750	6,537
営業外収益		
受取利息	7	13
受取配当金	278	250
不動産賃貸料	34	34
受取保険料	109	106
その他	4	5
営業外収益合計	434	410
営業外費用		
支払利息	133	144
支払保証料	6	11
為替差損	81	11
その他	24	9
営業外費用合計	245	177
経常利益	6,939	6,770
特別利益		
固定資産売却益	52	2
投資有価証券売却益	—	4
独占禁止法関連損失引当金戻入益	—	47
特別利益合計	52	54
特別損失		
固定資産除却損	4	1
投資有価証券評価損	—	18
ゴルフ会員権評価損	—	2
災害による損失	76	—
特別損失合計	80	22
税金等調整前当期純利益	6,911	6,802
法人税、住民税及び事業税	2,134	2,405
法人税等調整額	147	150
法人税等合計	2,282	2,556
当期純利益	4,628	4,246
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△ 10	△ 2
親会社株主に帰属する当期純利益	4,638	4,248

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	(平成28年 4月1日から 平成29年 3月31日まで)	(平成27年 4月1日から 平成28年 3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,395	611
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,442	△ 493
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 925	△ 894
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 14	△ 45
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,012	△ 822
現金及び現金同等物の期首残高	23,536	24,358
現金及び現金同等物の期末残高	26,549	23,536

POINT 連結損益計算書

完成工事高は、前連結会計年度比13,092百万円減の125,253百万円となりました。

完成工事総利益は、完成工事高は減少したものの、完成工事総利益率の改善により、前連結会計年度比1,075百万円増の17,788百万円となりました。

営業利益は、完成工事総利益の増加を受け、前連結会計年度比213百万円増の6,750百万円となりました。

経常利益は、営業利益の増加を受け、前連結会計年度比168百万円増の6,939百万円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益として固定資産売却益52百万円、特別損失として災害による損失76百万円(熊本地震関連損失)等を計上し、法人税、住民税及び事業税、法人税等調整額及び非支配株主に帰属する当期純損失を控除した結果、前連結会計年度比390百万円増の4,638百万円となりました。

POINT 連結キャッシュ・フロー計算書

現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ3,012百万円増加し、26,549百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は5,395百万円(前連結会計年度は611百万円の資金の増加)となりました。

主な要因は、税金等調整前当期純利益の計上及び売上債権の減少等の資金の増加要因が、仕入債務の減少等の資金の減少要因を上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は1,442百万円(前連結会計年度は493百万円の資金の減少)となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は925百万円(前連結会計年度は894百万円の資金の減少)となりました。

主な要因は、短期、長期借入金の返済による支出及び配当金の支払額が、短期、長期借入れによる収入を上回ったことによるものです。

株式の状況／会社の概要 (平成29年3月31日現在)

発行株式数及び株主数

- 発行可能株式総数.....80,000,000株
- 発行済株式の総数.....45,963,803株
- 株主数.....3,404名

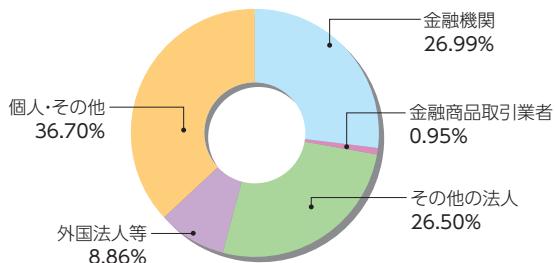
大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東京大元持株会	2,105	4.72
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,947	4.36
有楽橋ビル株式会社	1,826	4.09
HSBC BANK PLC-MARATHON VERTEX JAPAN FUND LIMITED	1,600	3.58
大阪大元持株会	1,549	3.47
ダイダグン従業員持株会	1,542	3.45
三信株式会社	1,118	2.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,114	2.49
名古屋大元持株会	1,074	2.40
株式会社みずほ銀行	959	2.15

(注) 1. 当社は、自己株式1,373,273株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率は、自己株式1,373,273株を控除して計算しております。

所有者別分布



会社概要

社名	ダイダグン株式会社
英文社名	DAI-DAN CO., LTD.
創業	明治36年3月4日
設立	昭和8年10月10日
所在地	<本店・大阪本社>大阪市西区江戸堀1丁目9番25号 <東京本社>東京都千代田区富士見2丁目15番10号
資本金	4,479,725,988円
事業内容	電気工事、空調工事、水道衛生工事の設計、監理、施工ならびにこれらに関連する事業
従業員数	1,505名

役員一覧 (平成29年7月1日現在)

代表取締役	会長 執行役員	菅 谷 節
代表取締役	社長 執行役員	北 野 晶 平
取締役	副社長 執行役員	藤 澤 一 郎
取締役	副社長 執行役員	太 田 隆 英
取締役	常務執行役員	古 新 亮
取締役	常務執行役員	池 田 隆 之
取締役	執行役員	立 石 知 己
取締役	執行役員	力 石 和 彦
取締役	執行役員	吉 田 宏
取締役	執行役員	松 原 文 雄
常勤監査役	監査役	滝 谷 政 春
常勤監査役	監査役	大 崎 秀 史
監査役	監査役	河 野 浩 二
監査役	監査役	西 内 義 充
主 席 執行役員	執行役員	吉 田 一 憲 也
主 席 執行役員	執行役員	荻 野 一 憲 也
上 席 執行役員	執行役員	清 水 登 功
上 席 執行役員	執行役員	高 比 良 満 也
上 席 執行役員	執行役員	坪 田 具 也
上 席 執行役員	執行役員	北 村 広 外 志 治
上 席 執行役員	執行役員	道 端 順 重 男
執行役員	執行役員	大 三 好 重 章
執行役員	執行役員	田 中 克 典
執行役員	執行役員	佐 々 木 洋 二
執行役員	執行役員	山 岸 工
執行役員	執行役員	平 田 博 英 彦
執行役員	執行役員	坂 本 暢 泰 生
執行役員	執行役員	芝 田 康 宏
執行役員	執行役員	山 中 稔 和 美
執行役員	執行役員	禮 原 中 勝 美
執行役員	執行役員	畑 中 勝 美
執行役員	執行役員	笹 木 寿 男

(注) 1. 取締役のうち吉田宏、松原文雄の両氏は、社外取締役であります。

2. 監査役のうち滝谷政春、河野浩二の両氏は、社外監査役であります。

ダイダネットワーク

30 本店

- 31 大阪本社
- 32 天理支店
- 33 神戸支店
- 34 京都支店
- 35 和歌山営業所
- 36 滋賀営業所

37 岡山支店

- 38 中国支店
- 39 山口営業所
- 40 山陰営業所

- 41 四国支店
- 42 松山営業所
- 43 高知営業所
- 44 徳島営業所

- 45 九州支社
- 46 熊本支店
- 47 宮田営業所
- 48 佐賀営業所
- 49 長崎営業所
- 50 大分営業所
- 51 宮崎営業所
- 52 鹿児島営業所
- 53 沖縄営業所

11 技術研究所

- 12 東京本社
- 13 関東支店
- 14 横浜支店
- 15 群馬営業所
- 16 栃木営業所
- 17 茨城営業所
- 18 千葉営業所

- 27 北陸支店
- 28 富山営業所
- 29 福井営業所

- 19 名古屋支社
- 20 豊田支店
- 21 三河営業所
- 22 長野営業所
- 23 松本営業所
- 24 静岡営業所
- 25 三重営業所
- 26 岐阜営業所

- 54 シンガポール支店
- 55 ホンコン支店
- 56 マレーシア支店

- 1 北海道支店
- 2 帯広営業所
- 3 函館営業所

- 4 東北支店
- 5 青森営業所
- 6 秋田営業所
- 7 盛岡営業所
- 8 福島営業所
- 9 山形営業所

10 新潟支店



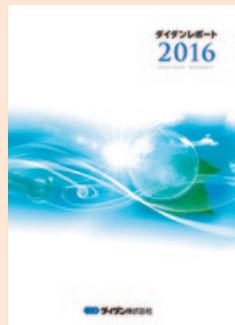
ホームページのご案内

当社のホームページでは、IR情報をはじめとして当社の各種情報を公開しておりますのでご覧ください。



<https://www.daidan.co.jp/>

「ダイダンレポート2016」を発行



当社の事業活動やCSR活動に加え、財務・非財務データを盛り込んだ統合的な企業レポート「ダイダンレポート」は、下記のホームページリンクよりダウンロードが可能です。

ダイダンレポート2016

<https://www.daidan.co.jp/csr/report.html>

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
1単元の株式の数	1,000株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
公告方法	電子公告により行います。 当社ホームページに掲載いたします。 (https://www.daidan.co.jp/finance/koukoku/index1.html)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部

UD
FONT



ダイダン株式会社

〒550-8520
大阪市西区江戸堀1丁目9番25号
電話 (06) 6447-8000